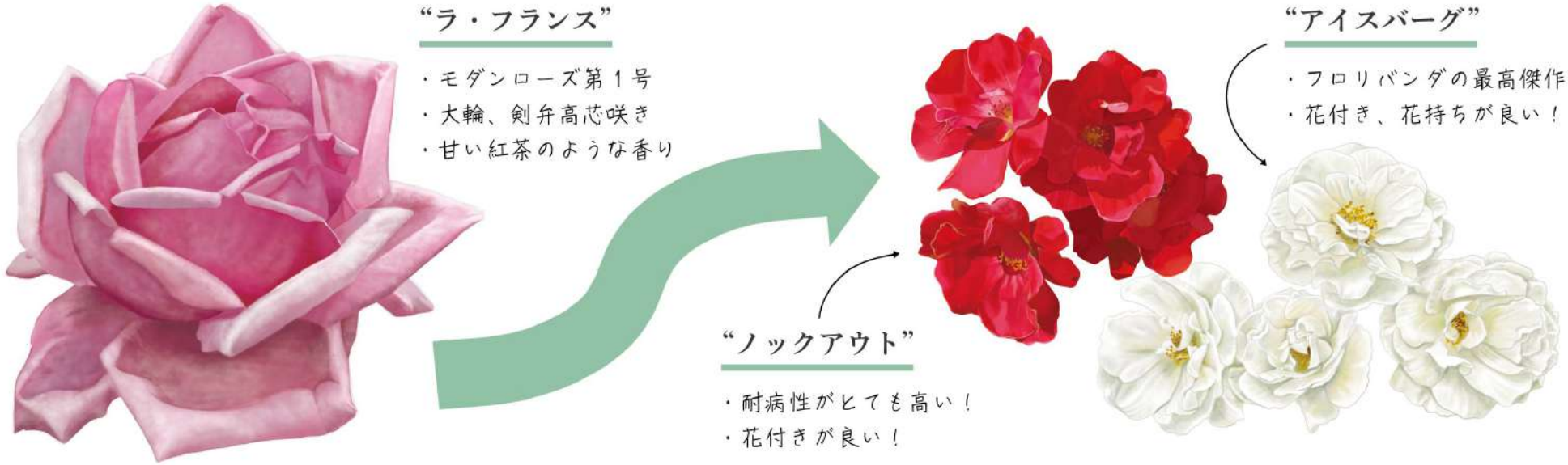
バラ園
Rose Garden

脱“大食漢のお姫さま”

長い間、バラは上流階級のものであり、手間と費用をかけて栽培され愛されてきました。
1867 年に作出された「ラフランス」がバラの品種改良の大きな分岐点で、
完全四季咲き性で剣弁高芯咲き、ティーの香りをもつ「ラ・フランス」は当時の最高級品種でした。



しかし、大きな花を何度も咲かせるため肥料はたっぷりと必要、病気に弱いため必要な薬剤も多く、
花がら摘みや切り戻し等の手間もかなり大変です。そのため ” 大食漢のお姫様 ” と呼ばれることも
あったのですが、現代では、四季咲きの性質はそのままに、耐病性を持ち、
小さめの花をたくさん咲かせる品種が多く作出されるようになりました。
ここでは、原種バラから現代のバラまで、さまざまなバラをご覧いただけます。

長居植物園 HP

バラ園でみられる
病気に強いバラ

バラ園について